WinBook U370 シリーズ
BIOS セットアップ
マニュアル

●BIOS セットアッププログラムについて

BIOS セットアッププログラムとはパソコンの BIOS 設定を確認したり、変更するためのプログラムです。本機では Phoenix BIOS を使用しています。セットアッププログラムは、マザーボード上のフラッシュメモリに格納されているため、いつでも実行できます。
BIOS セットアッププログラムで定義する設定情報は、CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域のメモリに格納されています。このメモリはマザーボードに搭載されたバッテリーによって保存されているため、パソコンの電源を切ったり、リセットしてもメモリの内容が消えることはありません。パソコンが起動するたびに設定のチェックを行い、CMOS RAM 内の情報と、実際のハードウェア設定に違いが見つかれば、セットアッププログラムを実行するよう要求してきます。

*****注意*****

BIOS の設定を間違うと、深刻なトラブルを引き起こす原因となります。BIOS 設定の際には細心のご注意をしてください。また、ご理解できない場合はBIOS の設定を変更しないことをお勧めします。

*****メモ*****

・BIOS 設定を変更する場合、あとで参照できるよう現在の設定をメモしておくことをお勧めします。
・実際に表示されるメニューは、パソコンに接続されているハードウェアや環境により、多少異なる場合があります。

●BIOS セットアッププログラムに入るには

１．本機の電源を入れると"SOTEC"ロゴが表示されるので、その画面が切り替るまでに[F2]キーを押してください。キーを押すのが遅れると、Windows が起動します。

2. BIOS セットアッププログラムに入ると、【セットアップメニュー】が表示されます。メニュー画面の最下部には、使用可能なキーの一覧が表示されます。

セットアップ画面の最上部のメニューバーから使用できるメニュー

メニュー画面	説 明
Main	ハードウェアコンポーネントにリソースを割り当てます。
Advanced	チップセットを介して使用できる、高度な機能を指定します。
Security	パスワードとセキュリティ機能を指定します。
Power	電力管理機能を指定します。
Boot	起動オプションと電源制御を指定します。
Exit	変更を保存、または廃棄します。

メニュー画面で使用できるファンクションキー

セットアップキー	説 明
[F1] または[Alt+H]	現在の項目のヘルプ画面を表示します。
[Esc] または[Alt+X]	メニューを終了します。
[←] または[→]	別のメニュー画面を選択します。
[↑] または[↓]	カーソルを上下に移動します。
[F5] または[-]	フィールドに対して前の値を選択します。
[F6] または[+] またはスペースキー	フィールドに対して次の値を選択します。
[F9]	現在のメニューに対する、デフォルトの設定値を読み込みます。
[F10]	現在の値を保存し、セットアップを終了します。
[Enter]	コマンドを実行したり、サブメニューを選択します。

ヘルプウィンドウ

各メニューの右側のフィールドヘルプウィンドウに、現在選択しているフィールドのヘルプが表示されます。また、どのメニューにおいても、[F1] キーを押すと総合的なヘルプが表示されます。

●BIOS セットアッププログラムメニュー

Main メニュー

CPU やメモリの情報を見たり、システムの日付や時刻、フロッピーのオプション、IDE デバイスの設定を行います。

機 能	オプション	説 明
System Time	時／分／秒	現在の時刻を指定します
System Date	月／日／年	現在の日付を指定します。
Legacy Diskette A:		ディスケットドライブ A の容量と物理サイズを表示します。
Primary Master (サブメニュー)	オプションなし	接続されている IDE デバイスのタイプを表示します。これを選択すると、Primary IDE Master サブメニューが表示されます。
Primary Slave (サブメニュー)	オプションなし	接続されている CD-ROM ドライブの型番を表示します。
System Memory		システムメモリの量を表示します。
Extended Memory		拡張メモリの量を表示します。
BIOS Version		BIOS のバージョンを表示します。

IDE デバイス設定サブメニュー

IDE デバイス設定サブメニューでは、次の IDE デバイスを設定します。

・プライマリーIDE マスター／スレーブ

・セカンダリーIDE マスター／スレーブ

機 能	オプション	説 明
Type	・None ・User ・Auto	IDE デバイスの設定モードを指定します。 ・User では、シリンダー、ヘッド、セクターフィールドを変更することができます。 ・Auto では、シリンダー、ヘッド、セクターフィールドに自動的に値が入力されます。
Cylinders	1 ～xxxx	ディスクのシリンダー数を指定します。
Heads	1 ～16	ディスクのヘッド数を指定します。
Sectors	0 ～63	ディスクのセクター数を指定します。
Maximum Capacity	オプションなし	ハードディスクの最大容量を表示します。値は、シリンダー、ヘッド、およびセクター数から計算されています。
Multi-Sector Transfers	·Disabled ·2 Sectors ·4 Sectors ·8 Sectors ·16 Sectors	ハードドライブからメモリに転送する 1 ブロックあたりのセクター数を指定します。 最適な設定については、ハードディスクの仕様を確認してください。
LBA Mode Control	・Disabled ・Enabled	シリンダー、ヘッド、セクターの代わりに、論理ブロックアドレッシング(LBA)を有効(Enabled)または無効(Disabled)にします。 注意！ ハードディスクをフォーマットした後に LBA Mode Control の設定を変更すると、ハードディスク上のデータが破壊されることがあります。
32 Bit I/O	・Disabled ・Enabled	CPU と IDE カード間での 32 ビット伝送を有効(Enabled)／無効(Disabled)にします。 PCI 、またはローカルバスが必要です。
Transfer Mode	・Standard ・Fast PIO 1 ・Fast PIO 2 ・Fast PIO 3 ・Fast PIO 4 ・FPIO 3/DMA 1 ・FPIO 4/DMA 2	ハードディスクとシステムメモリ間でのデータ転送方法を指定します。
Ultra DMA	・Disabled ·Mode 0 ·Mode 1 ·Mode 2	ハードドライブの Ultra DMA モードを指定します。

Advanced メニュー

チップセットを介して使用できる高度な機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Installed O/S	・Other ・PnP Aware OS	システムにインストール済みのオペレーティングシステムを指定します。
Reset Configuration Data	・No ・Yes	Yes を指定すると、ESCD 内のすべての設定データが消去されます。ESCD は、PnP に対応していない接続デバイスの設定設定を格納しています。製造メーカーの工場出荷時の設定に戻す必要がある場合、Yes を選択してください。
PS/2 Mouse	・Disable ・Enable ・Auto Detect	Disabled （無効）を選択すると、装着されている PS/2 マウスが機能しなくなり、IRQ12 が解放されます。
LCD Panel View Expansion	・Disable ・Enable	有効にすると、起動時の表示画面がLCD全体に拡大されて表示されます。
I/O Device Configuration	オプションなし	I/O デバイスを設定します。これを選択すると、I/O デバイス設定サブメニューが表示されます。
Large Disk Access Mode	・Other ・DOS	通常は DOS を選択します。UNIX など別のオペレーティングシステムを使用している場合は、Other （その他）を選択してください。ラージディスクとは、1024 を超えるシリンダーや 16 を超えるヘッダ、63 を超えるトラック/セクターを持ったディスクのことです。

I/O デバイス設定サブメニュー

I/O デバイスの設定を行います。

機 能	オプション	説 明
Serial Port A	・Auto ・Disabled ・Enabled	シリアルポートを設定します。 Enabled （有効）を選択した場合は、アドレスと割り込みを割り当てる必要があります。
Base I/O address/IRQ	・3F8/IRQ4 ・2F8/IRQ3 ・3E8/IRQ4 ・2E8/IRQ3	シリアルポートのベースI/Oアドレス及び割り込みを選択します。
IR Port	・Auto ・Disabled ・Enabled	赤外線ポートを設定します。 Enabled （有効）を選択した場合は、アドレスと割り込みを割り当てる必要があります。
Mode	・IRDA4PPM (FIR) ・IRDASIR-A	赤外線ポートのモードを設定します。
Base I/O address/IRQ	・3F8/IRQ4 ・2F8/IRQ3 ・3E8/IRQ4 ・2E8/IRQ3	赤外線ポートのベース I/O アドレス及び割り込みを選択します。
Parallel Port	・Auto ・Disabled ・Enabled	パラレルポートを設定します。
Mode	・Output only ・Bi-directional ・EPP ・ECP	パラレルポートのモードを選択します。
Base I/O address	・378 ・278 ・3BC	パラレルポートのベース I/O アドレスを選択します。
Interrupt	・IRQ5 ・IRQ7	パラレルポートの割り込みを選択します。
DMA channel	・DMA1 ・DMA3	パラレルポートを ECP に設定した際に使用する DMA 番号を選択します。
Floppy disk Controller	・Disabled ・Enabled	フロッピーディスクコントローラを有効もしくは無効にします。

Security メニュー

パスワードとセキュリティ機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Supervisor Password Is	オプションなし	スーパーバイザーパスワードの設定状況を表示します。
User Password Is	オプションなし	ユーザーパスワードの設定状況を表示します。
Set Supervisor Password	パスワードには、最大で 8 文字の英数字が使用できます。	スーパーバイザーパスワードを指定します。
Set User Password	パスワードには、最大で 8 文字の英数字が使用できます。	ユーザーパスワードを指定します。
Password on Boot	・Disabled ・Enabled	起動時にパスワードを入力しないと起動できないようにします。
Fixed Disk Boot Sector	・Normal ・Write Protect	ウィルス保護のため、ハードディスクのブートセクターをライトプロテクトします。
Diskette Access	・User ・Supervisor	ディスケットドライブのアクセスを制御します。

[スーパーバイザーパスワード] と[ユーザーパスワード] の両方を設定する場合、最初にスーパーバイザーパスワードを設定してください。一度両方のパスワードを設定すれば、スーパーバイザーパスワードかユーザーパスワードのどちらかを入力することで、セットアッププログラムに入ったり、パソコンを使用したりできるようになります。

*****メモ*****

パスワードの保管について

入力したパスワードは覚えておくか、必ずメモしておくようにしてください。パスワードを忘れると、次に電源を入れたときにパソコンが使えなくなります。また、セットアッププログラムに入ることもできなくなります。

スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定した場合の動作を示します。

機 能	オプション	スーパーバイザーのみ	両 方
スーパーバイザーモード	すべてのオプションを変更可能		
ユーザーモード	すべてのオプションを変更可能	N ／A	限定された数のオプションを変更可能
起動中のパスワード セットアッププログラムに入るためのパスワード	なし	スーパーバイザー	スーパーバイザーまたはユーザー

パスワードを削除、または変更

現在のパスワードを削除したい場合は、以下の手順に従ってください。

1 Security メニューの Set User Password （ユーザーパスワードの設定）、または Set Supervisor Password （スーパーバイザーパスワードの設定）で、[Enter] キーを押します。

2 [Enter Current Password] に現在のパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

3 現在のパスワードを削除するには、[Enter New Password] で、[Enter] キーを押すだけにします。

4 [Confirm New Password] が表示されたら、もう一度[Enter] キーを押します。

5 次のメッセージが表示されたら、[Enter] キーを押します。

Change have been saved.（変更は保存されました）

現在のパスワードを変更するには手順 3 と 4 で、[Enter] キーを押す前に新しいパスワードを入力してください。

Power メニュー

電源管理機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
SpeedStep(TM) Mode	・Maximum Performance ・Battery Optimized ・Recommended ・Disabled	**モバイル** Pentium(R) III **プロセッサの** SpeedStep(TM) **のモードを設定します。** ・Maximum Performance **常に高速クロックで動作します。** ・Battery Optimized **常に低速クロックで動作します。** ・Recommended AC **電源駆動時は最高速で、バッテリ駆動時は低速クロックで動作します。** ・Disabled **常に低速クロックで動作します。また、** SpeedStep(TM)**機能は禁止されます。** ＜参考＞ 700MHz CPU **の場合** **高速クロック** --- 700MHz **低速クロック** --- 550MHz

Boot メニュー

起動機能と起動順序を設定します。

機 能	オプション	説 明
Boot-time Diagnostic Screen	・Enabled ・Disabled	有効にすると、起動時の診断画面を表示します。
QuickBoot Mode	・Enabled ・Disabled	有効にすると、起動時の診断テストの一部を行わないため、起動時間を短縮できます。
Summary screen	・Enabled ・Disabled	有効にすると、起動中にシステム構成画面を表示します。
Boot sequence	なし	起動デバイス設定サブメニューが表示されます。

起動デバイス設定サブメニュー

起動機能と起動順序を設定します。

機 能	オプション	説 明
Boot Device Priority	·Removable Devices ·Hard Drive ·ATAPI CD-ROM Drive	使用可能なデバイスから起動順序を指定します。 起動順序を指定するには、 1.[↑] または[↓] キーで起動デバイスを選択します。 2.デバイスをリストの上に移動するには[+]キー、下に移動するには[-]キーを押します。 オペレーティングシステムは、各起動デバイスにそれがリストされている順序でドライブレターを割り当てます。デバイスの順序を変更すると、ドライブレターの割り当ても変更されます。

Exit メニュー

セットアッププログラムの終了、変更の保存、デフォルト設定の読み込みや保存を行います。

機 能	説 明
Exit Saving Changes	セットアップを終了し、変更を CMOS RAM に保存します。
Exit Discarding Changes	セットアップで行ったすべての変更を保存しないで終了します。
Load Setup Defaults	すべてのセットアップオプションに対してデフォルト値を読み込みます。
Discard Changes	セットアップは終了せず、変更を破棄します。パソコンの電源を入れたときのオプション値が使用されます。
Save Changes	変更を CMOS RAM に保存します。